審議会等の会議結果報告書

【担当課】　保険課

会議の名称	国民健康保険運営協議会		
開催日時	令和８年８月２８日（金）午後７時００分～午後８時００分		
開催場所	茅野市役所　８階大ホール		
出席者	【委員】１０名 【事務局】７名		
欠席者	【事務局】２名		
公開・非公開の別	公開 ・ 非公開	傍聴者の数	０人
議題及び会議結果			
発言者	協議内容・発言内容（概要）		
	１　開会 ２　会長あいさつ ３　市長あいさつ ４　協議事項 （１）令和７年度茅野市国民健康保険特別会計決算の状況について （２）その他 ５　閉会 議事録		
事務局	１　開会		
会長	２　会長あいさつ 皆様こんばんは。先日の降雨によってこの茅野市もようやく避暑地らしい、そんな陽気になってきたかなと思っておりますけれども、皆様方におかれましてはお仕事の後お疲れのところお集まりをいただきありがとうございます。今テレビをつければ、熊本の地震と、千葉の洪水と、そして昨日の石川・富山の豪雨、そしてネパールの大洪水。テレビを見ているとジオラマで作られた家が流されていくような感覚を受けて、皆さんも同じ感じではなかったかなと思っております。それにしてもテレビの映像を見るにつけ熊本地震で被災された方々、千葉の皆さん、石川、また富山の皆さん、犠牲者も出ているということで、お亡くなりになられた方、被災された方には心よりお見舞いを申し上げたいと思います。そしてまた被災された方の自分の家の片付け、そして、その早期の復旧復興に携わっている皆様方の、この酷暑の中での作業で健康を心配しているところでございます。とにもかくにも、地球温暖化を原因とする異常気象によるものじゃないかっていう、そのようなことがあるわけですが、環境問題これからもしっかり、みんなで考えていくときだなあと、そのように思っております。そして１月のときにも申し上げたんですけれども、国民健康保険をはじめとする健康保		

	険、それから年金、それから介護保険料、そんなようなものを含めて社会保険料と呼んでいて、それを下げさせろという声が大きく聞こえてきたんで、国民健康保険の被保険者の方々はやっぱり負担感が高いと思います。こうした中でこれは何とかいい方向へ向くかなとそんなようなことを考えたんですけれども、今はホルムズ海峡と関税と物価高の話題に押し消されて、そんな声が聞こえなくなってちょっと寂しく思っているところでございます。皆様ご承知のとおり、その構成被保険者と人口減少などの社会的環境によりまして、厳しい財政運営を強いられている国民健康保険でありますけれども、平成 30 年度から長野県を保険者として一本化するべく、市町村とともに国民健康保険の財政運営を担い改善に当たっていくということで、令和 12 年には医療費指数の県下統一を目指しているということでありまして過渡期でありますが、ただ、この取り組みについては健康づくりを推進している市町村にとってはさらに県への納付金が上がり、ひいては被保険者への国民保険税の増額に繋がるという、そういう場面もあり得る、いわゆる割りを食うという部分も懸念されているわけで。こうした中で皆さんで知恵を絞って、被保険者の税の負担感を緩和するべく、しっかり努力をさせていただきたい、そのような考えでおります。１月の税率改正の際の協議会で示された資料の中には、令和７年度の国民健康保険の特別会計の決算見込みを示して、ご審議をいただいたわけでありますけれども、決算が整い、９月定例会に上程され、これから審議の段取りとなっております。そうした中で、委員の皆様方にも決算状況をご理解いただきたい、確認していただきたいということで、よろしくお願いをしたいと思います。委員の皆様各方面から集まっておられますので、どうか、忌憚のない意見、活発な協議を賜りますようお願いを申し上げて、一言あいさつとさせていただきます。今日はよろしくお願いします。 ３　市長あいさつ
市長	皆さんこんばんは。大変お忙しいところ、またお暑い中こうしてお集まりをいただきまして誠にありがとうございます。さて、今回の会議はですね、先ほども会長さんの方からお話がございまして、決算の状況を皆様方にご報告をさせていただくというのが、主なことになります。状況を若干お話させていただきたいというふうに思いますけれども、国保は県で統一した事業にしていくということで、今はその緩和期間といいますか、一気に一緒にするというよりは、だんだん負担の割合を統一にしていこうということでやっている、そんな状況下にあります。最終的には令和 15 年度を目標に統一していきたいということで県が動いております。その中で茅野市も国保の事業を運営しているわけなんですけれども、令和４年度５年度と大幅な赤字が出ておりまして、令和６年度７年度の２年連続で税率の改定をしていただきました。それによってですね、おかげさまで２年連続で黒字という形で今回、黒字の決算を出すことができました。また、留保財源を３億 7,000 万円ほど貯めることもできておりますので、一山越えたかなという方向でありますけれども、今後長野県の国保事業を統一していく過程において、負担金等も増える方向に行くと思います。それから先ほどもお話があったように、国の方はいわゆる国民負担率を減らしていこうとい

	う話の中で社会保険料等を減らさなきゃいけないという議論は、消費税の議論なんかと一緒にされているんですけれども、その話の中で、地方にも少し持ってもらえないかみたいな話がないわけではなくてですね、これは地方自治体にとってはこれまた頭の痛い話で、そんな流れも若干見えてきております。まだ決まったとかそういうわけじゃないですけども、そういった方向も見えつつありますので、こういった社会保険料の周りっていうのも非常に予断を許さない状況が今後も続いていくかなというふうに思っているところであります。いずれにいたしましても、茅野市の国保の状況については、おかげさまで黒字決算を打てたということになりますので、今日この後、詳細について皆様方にご説明をさせていただいて、それについてまたご意見をいただければ大変ありがたいというふうに思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げまして、私からのごあいさつに代えさせていただきたいというふうに思います。大変お世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。
	4　協議事項
会長	茅野市国民健康保険運営協議会規則に従い会長が議事を進める。 茅野市審議会等の会議の公開に関する要綱に基づき、会議の公開について２点をお諮りしたい。１点は、今日の会議を公開するかどうか。もう１点は、公開にする場合は、会議録へ発言者の個人名を入れるかどうか。前回は、会議は公開とし、議事録への発言者の個人名は入れずに委員という表記とした。前回と同様でよろしいか。→異議なし
会長	この会議は公開とする。会議録へ発言者の個人名は入れず委員という表記とする。会議録はホームページに掲載する。
	（１）令和７年度茅野市国民健康保険特別会計決算の状況について
事務局	資料に基づき説明。 ・歳入歳出決算見込額について ・基金の運用状況について
委員	１月の運営協議会の資料の決算見込と比べて、歳入で約 6,500 万円増えて、歳出で約 3,900 万円増えているが、この内容について説明をお願いしたい。
事務局	国民健康保険税の決算見込みが、１月時点の決算見込よりも上がっている。税率を改定させていただいてという部分もあると思うが、１人当たり課税所得が伸びているのが１つ、要因にある。保健事業は１月時点と比べると、落ちている。一番はそこの部分かと見ている。
委員	具体的に言うと、歳入の県支出金が１月時点で 31 億 6,800 万円だったのが、32 億 3,600 万円になり 6,000 万円ほどずれがある。保険税は 1,000 万円ほど増えている。繰越金とその他は変わらず、全体で１月時点では 48 億 1,900 万円だったので、6,500 万円ぐらい増えている。

	歳出の保険給付費は１月時点で 31 億 1,500 万円だったのが、31 億 7,000 万円で増えている。納付金と総務費は変わらず。保健事業費は１月時点で 6,287 万円だったのが、5,370 万円になり約 1,000 万円ほど減っているが、原因や理由を教えてもらいたい。
事務局	保健事業費は、健診事業などで国保の人口が減っているがそこを見誤ったため当初予算を多めに見込んでしまった。健診の受診率に関しては上がってはきているが、そこの関係性はもう少し分析していく。
事務局	保険給付費については、受診行動によるところがある。
委員	見込みとの誤差範囲ということで理解した。
委員	基金の運用状況について、新規積立 2,900 万円は今回黒字決算だったためということだが、もう少し詳細な説明をお願いしたい。
事務局	平成 30 年度以降、利子分のみを積み立てて約１億 6,000 万円を推移していたが、令和７年度に新規積立をした。経緯としては、令和７年度予算の策定時（令和６年度中）に、令和５年度の決算収支が約 3,500 万円の黒字となり、令和６年度の決算も単年度収支で黒字という見込みがあったため、令和５年度の決算収支の約 3,000 万円を基金積立額として予算計上した。予定どおり令和６年度の単年度収支が黒字になったため、予算のとおり基金に積み立てた。地方財政法にも、会計で剰余金が発生した場合は積み立てるという基本方針がうたわれている。
委員	県下統一になった後どうなるかわからないが、基金は際限なく積み立てるわけではないということか。
事務局	長野県国保室としては、国保税率を県下市町村で完全に統一したからといって基金を県に全部納めるという方向性はないと。見通しとすれば、基金は茅野市のものとしてこれからも存在していく。
委員	今後割を食う場面も出てくると思う。税率改正の場面でもこの蓄えを使って納税者の負担感を和らげるような政策を打っていかなければと思っているので、よろしくお願いしたい。
会長	他に質問等は。→なし 特別会計決算見込みについて了承するということでよろしいか。→異議なし
事務局	（２）その他 資料に基づき説明。 ・今後の日程について ・保健事業ワーキンググループについて

委員	長野県下統一の過程の中でのワーキンググループということで、それぞれの市町村の職員さんが集まってるということか。
事務局	保健事業ワーキングの他に、国保税ワーキング、事務に関するワーキングの計三部会があり、全市町村ではないが、それぞれのワーキングに県から指名された市町村が参加し、議論を進めている。
会長	最終的な一本化に向けた細かいところのすり合わせをワーキンググループで行っているということを委員の皆さんも理解しておいていただきたい。ご意見ご質問は。→なし
副会長	５　閉会